

短期システム診断の勧め

20xx/xx/xx

■ 診断作業概要のご紹介

短期システム診断の勧め
短期診断の考え方の例
短期診断の進め方
短期システム診断報告書例

■ システム診断担当

特定非営利活動法人 東京ITコーディネータ

aaaa (中小企業診断士、システム監査技術者、ITC、ISMS審査員補)

bbbb (公認システム監査人 情報処理特種技術者、ITC)

短期システム診断の勧め

■短期システム診断実施の目的

- 再構築検討の要件を明確にする
- ・現行システムの経営方針・事業方針の適合性
- ・事業責任者・担当者のニーズとの適合性
- ・スタッフ部門の要求事項との適合性
- ・システム維持・運営機能の課題明確化

■短期システム診断の進め方 参照別紙(略)

- 別紙の範囲でヒアリングおよび調査を実施
- 経営トップおよび社内のキーパーソン約〇名の方に現行システムの有効性、要望についてヒアリング実施
- 現在のIT投資対効果を評価
- 必要に応じ情報セキュリティレベルの簡易診断を実施
- 短期診断実施に当たり守秘契約を締結

■社内ユーザにお願いする事項①

- 貴社の今後の10年を支える情報システムはどうあるべきかについて、忌憚のない意見をヒアリングできること(貴社の強み・弱み・機会・脅威、等)
- 投資対効果に必要なIT関連費用データ、データ件数の概数資料を入手できること
- その他マニュアル、出力情報、入力画面、ベンダーの提案等を適宜閲覧できること

■社内ユーザにお願いする事項②

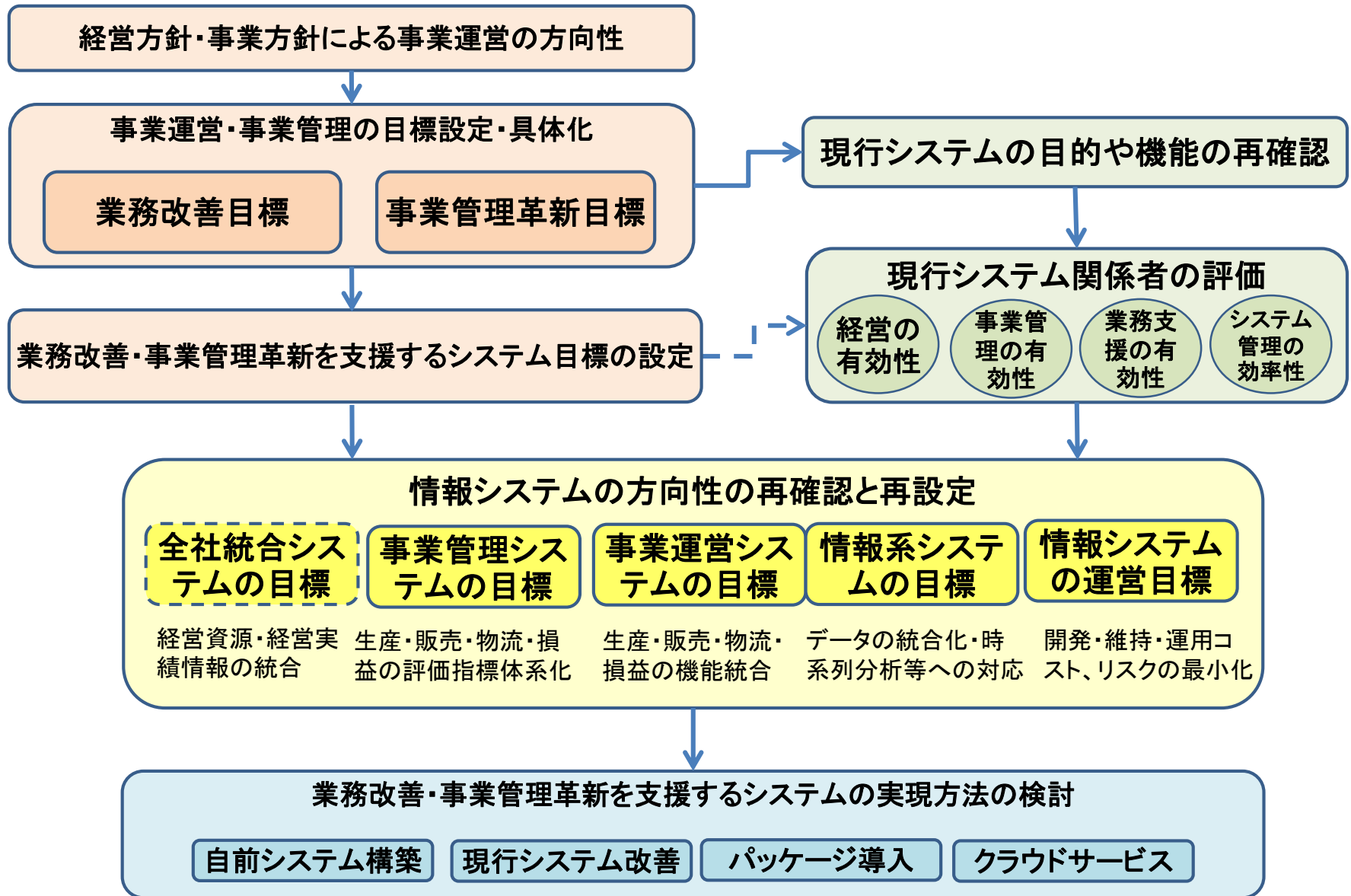
ヒアリングさせて頂きたい方(案)・・・経営トップと情報活用部署、情報入力部署等 約〇名の方の時間確保
時間の目安 トップ〇分、責任者〇分、担当者〇分
システム担当〇分

- | | | |
|----------|----------------|----|
| □経営トップ | 営業担当、技術担当 | 〇名 |
| □営業 | 責任者・担当者 | 〇 |
| □営業管理部 | 業務課責任者・担当者 | 〇 |
| | 営業企画管理責任者 | 〇 |
| □製造 | 生産管理責任者・担当者 | 〇 |
| □生産技術・開発 | 責任者 | 〇 |
| □システム | 担当者(兼務者) | 〇 |
| | その他社内のビッグユーザ | |
| □スケジュール案 | ・・個別に実施させて頂きます | |
| 1回目 | 午前〇時間、午後〇時間 | |
| 2回目 | 午前〇時間、午後〇時間 | |

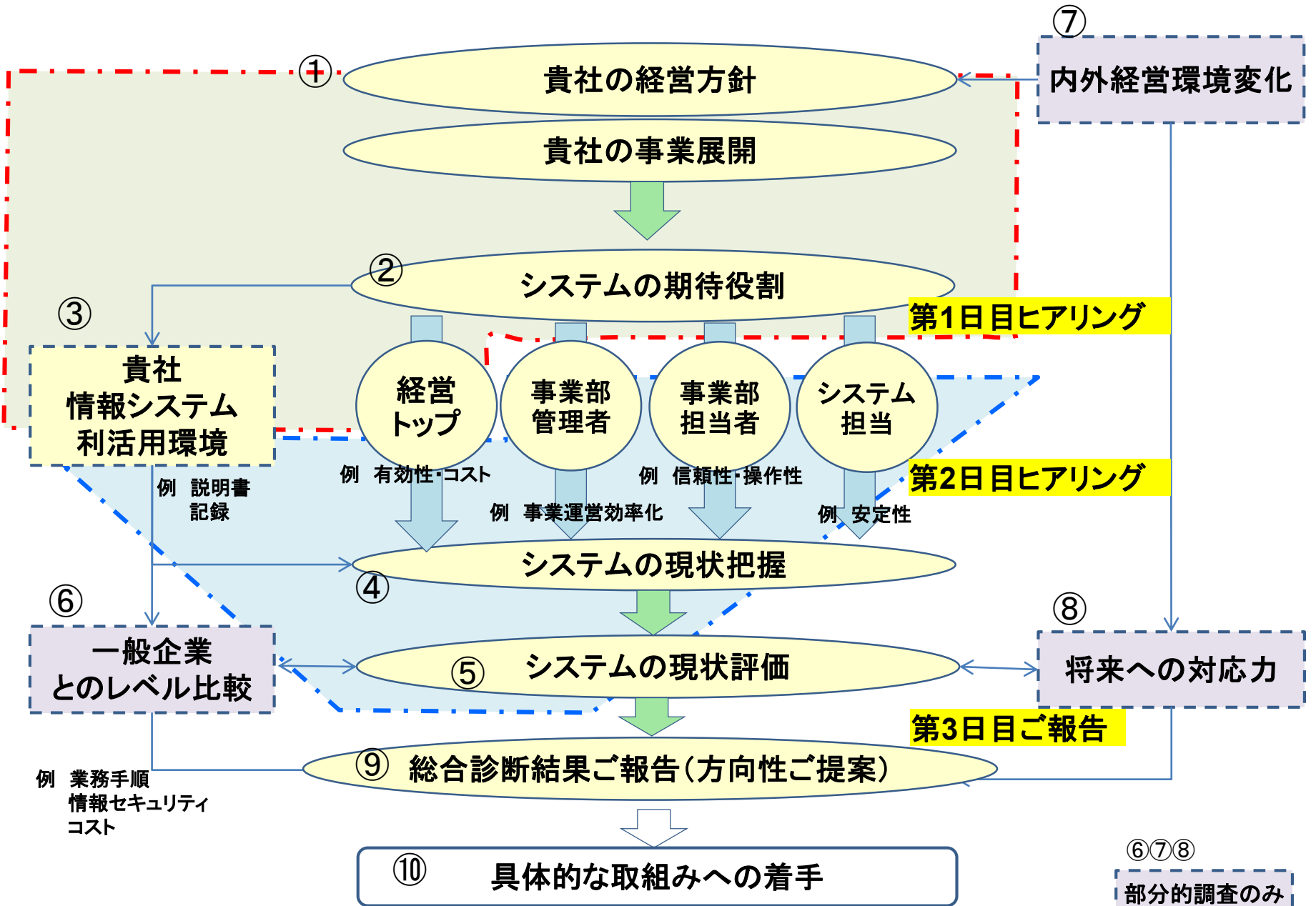
■短期システム診断結果の報告内容案

- ～現行システムの評価と改善の方向性検討～
- 1.基幹業務システムの「役立ち度」評価
 - 2.基幹業務システムの機能評価
 - 3.情報インフラの評価
 - 4.情報システムの運用状況評価
 - 5.情報セキュリティ・システムリスク対策の評価
 - 6.情報システムコストの評価

短期診断の考え方の例



短期診断の進め方



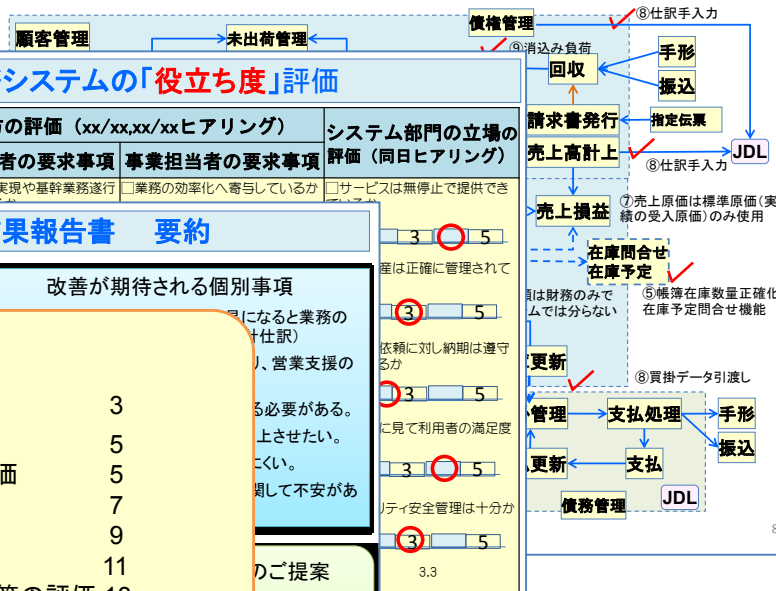
短期システム診断報告書例

2.5付 情報セキュリティ対策診断

1. 情報セキュリティ対策診断とは

独立行政法人情報処理開発機構(IPA)が作成した組織の情報セキュリティ管理の安全度をア

2.2補足 基幹業務システムの機能評価 マークが改善点 は未実現機能



2.1 基幹業務システムの「役立ち度」評価

視点	システム部門以外の立場の方の評価 (xx/xx,xx/xxヒアリング)			システム部門の立場の評価 (同日ヒアリング)
	経営者の要求事項	事業管理者の要求事項	事業担当者の要求事項	
	<input type="checkbox"/> 経営目標や経営戦略の実現に	<input type="checkbox"/> 事業戦略の実現や基幹業務遂行	<input type="checkbox"/> 業務の効率化へ寄与しているか	<input type="checkbox"/> サービスは無停止で提供でき

1 短期システム診断結果報告書 要約

現状の適合性・満足度の総合評価

改善が期待される個別事項

目次

1.短期システム診断結果報告書 要約	3
2.貴社システム診断結果のポイント	5
2.1.基幹業務システムの「役立ち度」評価	5
機能評価	7
状況評価	9
リスク対策の評価	11
対策診断	13
評価	15
意見	17
メッセージ	19
メッセージ	21
ご提案	25

xxxx株式会社 御中

短期システム診断報告書

2014/xx/xx

■診断作業概要

- 第1日目 2013/xx/xx 15:00~17:30「経営トップヒアリング」
- 第2日目 2013/xx/xx 13:30~18:30「システム及びユーザ部門ヒアリング」
 - ①ヒアリング
 - 経営トップ、ユーザ部門責任者、ユーザ部門担当者、システム担当部長
 - ②観察および確認・ユーザ利用状況、システム稼働環境
 - ③資料閲覧・システム関連資料、
- 第3日目 2013/xx/xx 10:00~12:00「システム診断結果報告会」

■システム診断担当

- 特定非営利活動法人 東京ITコーディネータ
- aaaa (中小企業診断士、システム監査技術者、ITC、ISMS審査員補)
- bbbb (情報処理特種技術者、ITC)